



おもちゃ



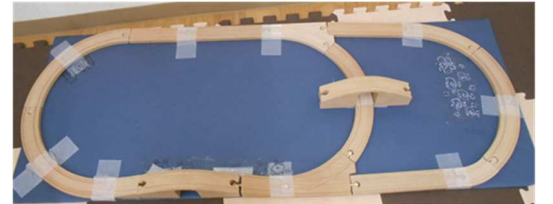
にじいろほいくえんぐけぬましんめい

保育園にはなんでおもちゃがあるの??

【おもちゃ】語源は手にもって遊ぶもの「もちゃ」から来ています。子どもの学び（成長発達）は「遊び」の中から育ちます。子どもと「おもちゃ」は切っても切れない大切な関係とも言えますね。特に長時間大勢（集団）で過ごす保育園では数多くのおもちゃを用意する必要があります。「今日は保育園に行ったらブロックで遊ぼう」「夕方は塗り絵をしよう」と何をするのかを自分で決める、その思考こそが主体性を育てるカギとなります。また保育者は日々子どもが何に興味を持っているのか観察し、子どもの成長がより育まれるおもちゃを用意します。子どもの意欲が掻き立てられ満足できるようなおもちゃを用意することが情緒の安定にもつながります。是非、ご自宅用のおもちゃ選びの参考にしてくださいね。

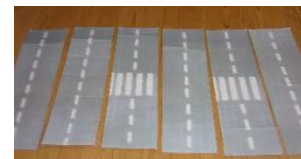
【マグフォーマー(マグネット)】

三角や四角等の色とりどりのマグネットです。小さい頃は壁にくっつけたときの「パチッ」という音と感触を楽しんでいます。成長するにつれてマグネットを組み合わせて「立体」にしていけることができます



【電車 ミニカー】

磁石で連結できる電車やミニカーを用意しています。トーマス電車も大人気です。0、1歳児は、レールを組み合わせたことが難しい為、保育士がレールをつなぎ画用紙に貼りつけています。ミニカーの駐車場を作りました。片付けるときも駐車場にきれいに収めています。画用紙で作った「道路」も大人気です。道路をつなぎ合わせてミニカーを走らせています。



【ブロック色々】井形ブロックやレゴブロックも沢山用意しています。

組み立てていく楽しさを満喫しています。



【くっつき虫】吸盤になっていてどんどんつなぐことができます。1歳から3歳までの子ども達が好んで遊んでいます。



【木製パズル】

小さな手でも扱いやすい大きさです。カラフルに着色されて、ピースも少ないので繰り返し遊んでいます。

【てんとうむし】

黒い斑点のところが「ねじ」になっています。0歳後半から2歳さんくらいの子が好んでいます。指先を使って微妙にねじの傾きを調節しながら一生懸命集中して取り組んでいますよ



0歳児の赤ちゃんは音が出るおもちゃを好みます。指先を使ってボタンを押す楽しさや、クルクルと回すと音が出る楽しさを味わっています。また「口は第2の脳」と言われているように、何でも口に入れるのが赤ちゃん時代の特徴です。危険のない範囲で口に入れて感触を確かめる遊びも見守っていきたいですね。



100円ショップで「スイッチ」を購入しました。子どもはカチカチという音を楽しんだり、指先を器用に使ってスイッチをいじっています!! 購入したおもちゃ以外にも、壊れてしまったインターホンや電卓、デジカメなどもおもちゃとして使用しています。電卓はお買い物ごっこに、インターホンは「はい、おはようございませーい」と保育士の真似をしておままごと遊びに使っています。お気に入りの絵本を印刷して壁や棚に貼ったり、子どもが大好きなアンパンマン達を貼ったり。赤ちゃんが「あっあ」と指差しをしたり、「あんぱん」と名前を呼んだりしています。発語を促す面からもとても効果的です。